

## 令和5年度 第1回燕市学校給食運営委員会会議録（要旨）

日 時：令和5年7月6日（木）午後3時から4時10分まで

場 所：燕市役所 1階102・103会議室

出席委員： 燕東小学校委員、燕南小学校委員、燕北小学校委員、小池小学校委員、  
大関小学校委員、小中川小学校委員、粟生津小学校委員、吉田小学校委員、  
吉田北小学校委員、島上小学校委員、小池中学校委員、燕北中学校委員、  
吉田中学校委員、分水中学校委員  
食物アレルギーに識見を有する者、学校薬剤師

欠席委員： 分水北小学委員、分水小学校委員

委託業者： 株式会社味彩燕、株式会社メフォス

栄養教諭： 東部学校給食センター栄養教諭、西部学校給食センター栄養教諭

事務局： 教育長、教育次長、主幹、学校教育課長、学校教育課課長補佐、学校給食係

- 1 開会挨拶 小林教育長、佐藤委員長
  - 2 委員紹介 燕市学校給食運営委員会委員名簿を参照
  - 3 議事進行（進行 学校給食運営委員長）
    - (1) 副委員長の指名について  
分水中学校長 相澤委員が指名された。
    - (2) 燕市の学校給食について  
資料に基づき燕市の学校給食の特色について説明した。
    - (3) 令和4年度学校給食の取組報告について  
資料に基づき「食育に関する取組」、「食物アレルギーに関する取組」、「学校給食喫食量調査」等の令和4年度の取組報告について説明した。
    - (4) 令和5年度学校給食の取組（案）について  
資料に基づき「食育に関する取組」、「食物アレルギーに関する取組」、「小中学校給食費に係る保護者負担の軽減」等の令和5年度の取組（案）を説明した。
- ※「令和4年度学校給食の取組報告」、「令和5年度学校給食の取組（案）」について承認された。

[委員の意見等]

■ 喫食量調査について (P. 12)

委員 喫食量調査というのは、具体的にどのように、どういう期間で行われているのか。

事務局 毎年 11 月の 2 日間を選定し、全小学校の 3・4 年生、全中学校の 2 年生に調査を行っている。児童生徒には事前に調査の日を知らせていないため、普段の喫食状況が見られる。

委員 2 日間だけの抜き打ちとなると献立によって変わってくるのではないかと。もう少し調査の日数を増やした方がいいのではないかと。

事務局 調査の際に、毎年の傾向を比較するため、毎年似ている献立を選定するようにしている。細かく計量するのは年に 2 日間だが、毎日どのくらいの残量があったのかは給食センターで確認している。引き続き献立の選び方を検討し、喫食量調査を続けていきたい。

■ 食物アレルギー研修会について (P. 12)

委員 令和 5 年度の教職員向けの食物アレルギー研修会は当日講師を招いたのか。何人参加したのか。

事務局 講師には、県立吉田病院小児科アレルギー専門医の松野正知先生をお招きし、昨日開催。参加者は各校から 1 名と給食関係者の合わせて 26 名が参加。後日、録画したものを学校向けに配信予定。

委員 食物アレルギー研修会等において、私立の参加は考えていないのか。

事務局 保育園・こども園、児童クラブ向けに開催している食物アレルギー研修会には私立も参加している。

委員 私立の保育園・こども園から公立の小中学校に通う場合、公立の人は研修会に参加してきたが、私立は参加していないとなると保護者、学校は不安に思うのではないかと。食物アレルギーに関する研修は公私関わらず同じ研修が受けられるといいと思う。

事務局 こども政策部と情報共有し、意見を反映できるように対応していきたい。

■ 非常変災等臨時休業に係る対応について (P. 13)

委員 9 ページには、「大雪などで」と例がある。P. 13 の方で今年度も同じ要綱で行われているため大雪は含まれると思うが、この非常変災等の中にはどのような非常変災が含まれるのか。また、臨時休業措置については、休校、学年閉鎖が含まれると思うが、学級閉鎖も含まれるのか。

事務局 非常事態の天変地異が非常変災等に該当する。また、天変地異の際に学級閉鎖ということはおそらく考えられないため、学校単位での補助金としている。

■ 学校給食献立をInstagramで毎日紹介について (P. 12)

委員 Instagramでの情報発信を楽しく見ている。先日の夏ののっぺい汁はだしで味わう汁物ということで塩分は抑えられているが満足感があつた。このような地元の特色ある料理を給食の中で全児童生徒に食べる機会を与えられたことは食育の面でも大きな効果があると感じた。また、先日提供された枝豆ごはんについて、以前は白いご飯に枝豆というイメージだったが、今回は茶色みがかっているご飯で香ばしい味付けだった。地域に根ざした食材を使ってオリジナリティのある献立を目指していることの一環なのかどうか。

栄養教諭 燕市はたくさん農作物があり、できるだけ子どもたちに味わってもらいたいので、素材の味を活かし味付けの工夫をしている。今回、西部学校給食センターでは白いご飯、東部学校給食センターでは茶色いご飯で提供している。それぞれのセンターで工夫点や味付けが異なることがある。

事務局 2つのセンターで給食の内容が違うという疑問を持たれることもあるため、献立検討会議で統一できるように検討していきたい。

委員 統一することが良いのか、それぞれ特性のある給食を提供することが良いのか検討していただきたい。

■ 学校給食巡回指導の実施について (P. 12)

委員 除去食、代替食の管理方法を学校側への指導という形で行っていると思うが、大元の調理をする給食センターへの市からの外部調査、教育指導はあるのか。

事務局 指導というよりは、市教委と給食センターで一緒にアレルギー対応について考えて運営している。センターがどういう対応をしているかを市教委は把握している。給食センターから間違いを起こさないよう徹底している。

委員 この対策をしっかりとできているのかという確認をする監査はあるのか。

事務局 監査という形はとっていないが、東部学校給食センター、西部学校給食センターそれぞれに県の栄養教諭が2名ずついるため、調理配送を行う委託事業者と現場で常に確認をしながら給食を提供できるように体制を整えている。加えて、学校教育課の学校給食係にも管理栄養士がいるので、一緒にチェックをするなど連携を強化している。

■ 食物アレルギーに係る緊急時の対応について

委員 学校で児童生徒がアレルギー症状を引き起こすのは、どういう状況かは分からないため、教職員等にエピペンを打つ練習を広めてほしい。

委員 学校保健会から食物アレルギーを持つ児童生徒の人数が増えているというデータ発表があつた。各学校で緊急時に備えた訓練をする必要があるという発表もあつた。各学校で実施するにあたり、様々な場面を想定してロールプレイングのようなもので実施してもらいたい。

事務局 新年度の学校給食が開始される前に市教委から各校にアレルギーの研修を行うよう依頼している。エピソードトレーナーが各校や市教委にあり、模擬練習を行っている。

(5) 令和4年度学校給食会計決算について

① 令和4年度学校給食会計決算報告  
決算書のとおり説明した。

② 令和4年度学校給食会計監査報告  
東部及び西部学校給食センター会計監査について報告した。

(6) 令和5年度学校給食会計予算（案）について  
予算書のとおり説明した。

※「令和4年度学校給食会計決算」、「令和5年度学校給食会計予算（案）」について承認されました。

5 閉会 閉会挨拶 相澤副委員長